

令和4年度 第2回市政モニターアンケート 「富士宮市公式ホームページ」の集計結果からの考察

視覚的に見やすいホームページ作りが重要である

親しみやすさ・見やすさを求める声があることから、写真や画像を使用し、文章を全て読まなくてもどのような内容か一目でわかるレイアウトが求められている。例えば、カテゴリ分類の表示はアイコンをメインに使い、講座やイベントなどの紹介ページでは写真を使用するなど、見ている人が内容を理解しやすいレイアウトが必要である。

また、スマートフォンでホームページを閲覧した際によりスムーズに操作できるよう、スクロールの向きや画像の表示方法を工夫したい。

ダイレクトにページへ飛べる工夫が必要である

現在、ホームページには重要なお知らせや新着情報欄はあるものの、カテゴリ分類からページを探す際は、4～5回見出しをクリックしないとページが開かない仕組みになっている。しかし、利用者の多くが知りたい情報を探すためにホームページを利用していることから、より少ないクリック数でページへたどり着ける構成にすることで、利便性も向上するのではないかと伺える。

注目のキーワードやよく検索されるページが表示される枠を設けたり、カテゴリ分類からページを探すときは一つ一つクリックして開かなくても、カーソルを合わせれば次のメニューが展開されるなどの仕組みを検討したい。

観光やイベント情報、飲食店情報など、富士宮市の魅力を発信するページが求められている

市内で開催されているイベントを日付や場所で検索できるようにするなど、情報が集約されたページがあると便利との声が聞かれる。また、新しくオープンした店舗や市内の飲食店情報を求める声もあり、グルメ情報などが掲載されるとホームページの利用者数や閲覧頻度も上がるのではないかと推測される。

市で取り組んでいる情報の周知徹底が必要である

ホームページ新着情報の Twitter への自動表示連携、ホームページ内の検索エンジン、LINE の道路通報機能など、すでに実施済のサービスでも、あることを知らず機能を求める声が聞かれた。

これは、市からの広報が十分でないためだと考えられる。新しい機能やサービスを導入する際は、広報やインターネット、SNS など様々な媒体を活用して情報発信を行うことで、より多くの人に情報が届くよう努めたい。